

3) 誤嚥対策

①誤嚥防止術（声門閉鎖術，気管喉頭分離術，気管食道吻合術，喉頭摘出術）

重度の誤嚥がある場合や誤嚥があっても経口摂取を強く希望する場合には，耳鼻咽喉科医と連携して誤嚥防止術を考慮する．誤嚥防止術は誤嚥性肺炎のリスクを減らし，喀痰吸引回数の減少，夜間の良眠など QOL の向上に有効であり，患者と介助者の満足度が高い⁵⁾（エビデンスレベル IVb）．一方で，重症期の患者では術後経口摂取が可能になるとは限らない．

②気管切開

気管切開は，誤嚥などによる痰の増加に対し，吸引を容易にするため行われる．

参考：専門的な摂食嚥下対策についての相談は，日本摂食嚥下リハビリテーション学会や日本嚥下医学会など，摂食嚥下関連の学会に問い合わせるとよい．